

原水協活動推進News

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03-5842-6031 FAX：03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年10月7日 No.7

核兵器廃絶よびかけ全国で行動



埼玉県原水協とさいたま市原水協は6日、JR浦和駅西口で「6・9行動」を行い、駅乗降客などに「核兵器のない世界を」署名をよびかけました。県原水協の吉野理事長と佐藤事務局長が交互にマイクを握り、「いま、核廃絶にむけて世界は大きく動いている」と5月のNPT会議とニューヨーク行動、8月の世界大会などの模様を知らせ、「核兵器の全面禁止・廃絶条約の交渉開始への行動を日本政府に求めよう。そのためにあなたの署名を」と訴えました。行動には新婦人、埼教組、県原水協から16人が参加し、約1時間で130筆の署名が寄せられました。

昼休み時間に行動

岡山県と市原水協は10月6日昼休み時間、岡山駅前で「6・9行動」を行いました。

マイクを持った県労会議伊原事務局長は「全世界で核兵器廃絶の大きな動きがある中で、被爆国の菅首相は『核抑止力はわが国にとって必要』とのべるなど核に依存した姿勢を示しています。核兵器全面禁止・廃絶条約の交渉をすみやかに始めるよう日本政府が国際的イニシアチブを発揮するよう日本政府に求めましょう」と通行人に呼びかけました。

署名に応じた年配の婦人は「日本の総理大臣は核兵器廃絶に消極的ですね。中国との尖閣諸島問題の対応も頼りない」と厳しく指摘していました。

昼休みの短い行動でしたが、21筆の署名が寄せられました。行動には、県労会議、自治労連、医労連、高教組、岡山市職労、県人権連、平和委員会、事務局から12人が参加しました。



▲マイクで訴える県労伊原事務局長 (10/6 岡山駅前)

ゆったり歩く通行人に呼びかけ



宮崎県原水協は6日、宮崎市内の繁華街で「6・9行動」を行いました。晴天で気温も25度と天候に恵まれたこともあり、ゆったりと歩く通行人に署名を呼びかけました。「尖閣諸島、フジタの社員拘束と、中国には困ったことだ。日本も核兵器を持たないといけないのではないか」という人もいましたが、おおむね反応は良く、50分間で125人から署名が寄せられました。行動には4団体から11人が参加しました。



最新情報はコチラ→原水協通信blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>
携帯電話からもアクセスできます。